

2023. 9. 17
地域の縁側
団体研修会

藤沢市の支え合いは 「地域の縁側」から



藤沢市 福祉部
地域共生社会推進室

藤沢市のめざす姿・・・

超高齢社会の更なる進展を見据え、
地域における、「**繋がり・支えあい・助けあい**」等
の力を最大限に活かしながら、
高齢者の「住まい」を中心に、
日常生活の様々な場面において、
『地域住民』、『医療』、『介護・福祉』、『行政』等が
一体となった

地域で支えあう体制

日常生活の中で抱えている不安や課題

生活困窮

仕事もなく経済的に
生活できるか不安…

8050問題

うちの子、もう何年
も引きこもってる…

親亡き後

うちの子、障がいがあるけど、
私が居なくなったらどうしよう



ダブルケア

親の介護は
どうすればいいんだろう…

母子の孤立

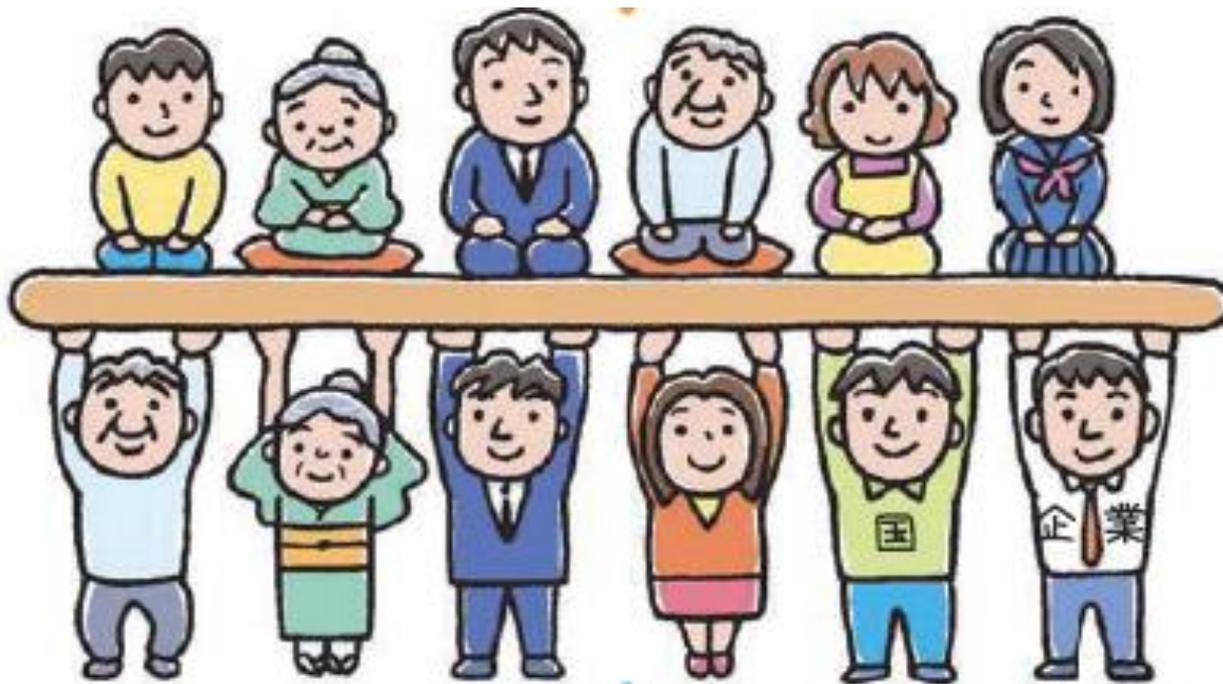
これから先、一人で産んで
一人で育てていくのかな…

子どもの貧困

お腹がすいた…あたたかい
ご飯が食べたいな…

**妊娠、出産、子育て、介護、障がい、生活困窮、社会的孤立等、
地域に住む人の抱える不安や課題は『複合化・複雑化』してきている。**

これから大切なのは・・・



誰もが「支えあい」「助けあう」
ことができる社会の醸成

藤沢市がめざす地域包括ケアシステム（共生型）

【めざす将来像】

誰もが住み慣れた地域で その人らしく安心して暮らし続けることができるまち

【3つの基本理念】

1 全世代・全対象型
地域包括ケア

2 地域の特性や
課題・ニーズに
応じた取組

3 地域を基盤とした
総合的・包括的な
相談支援体制

国がめざす
「地域共生社会」と
方向性は同じ

「地域の縁側」は大切な役割！

①誰もが 気軽 に立ち寄れる！

→住民同士の和の広がり

②身近な地域の 相談 窓口！

→地域の絆

助け合いのコミュニティの醸成

誰もがいきいきと健やかに暮らせる
まちづくりに必要な活動です。

「地域の縁側事業」のはじまり

超高齢社会の進展や単身世帯の増加、社会経済情勢の変化等に伴う地域コミュニティの希薄化など、さまざまな社会問題に対する懸念が広がる中、藤沢市では、住民同士のつながりや支え合いを大切にしようと、2014年10月に市内3施設のモデル事業として

地域の縁側事業を開始。

2023年9月現在

地域の縁側 市内36カ所

基本型

25カ所

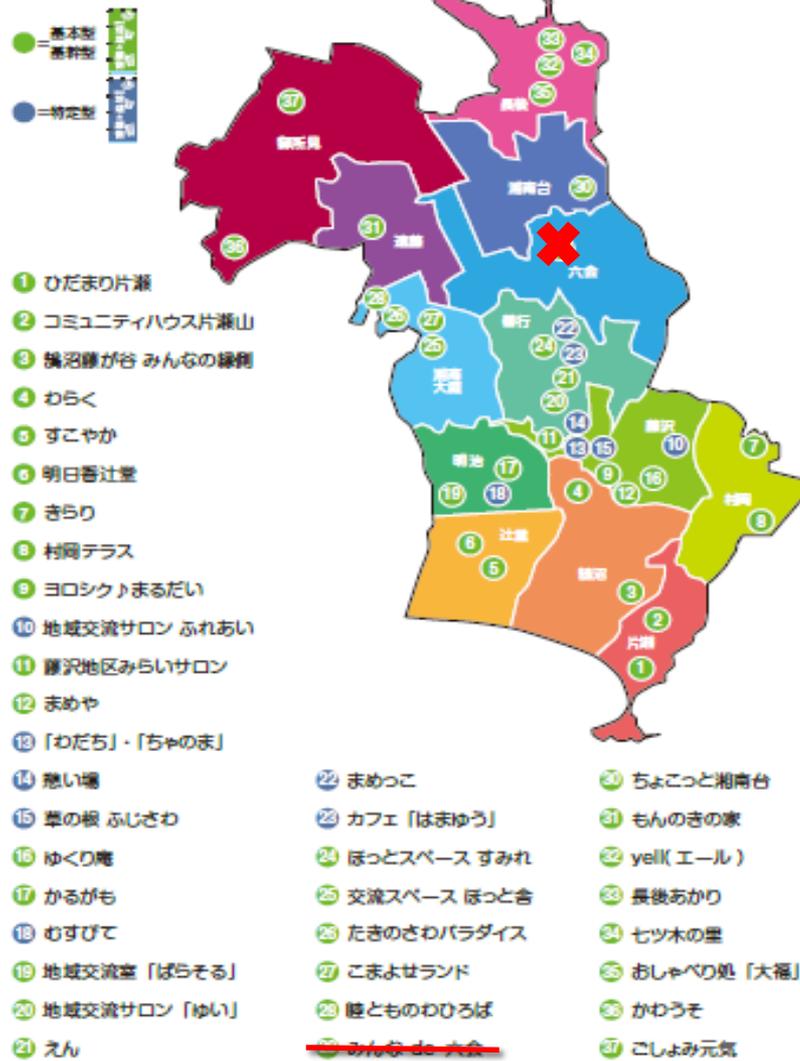
特定型

7カ所

基幹型

4カ所

～藤沢市 地域の縁側 分布図～

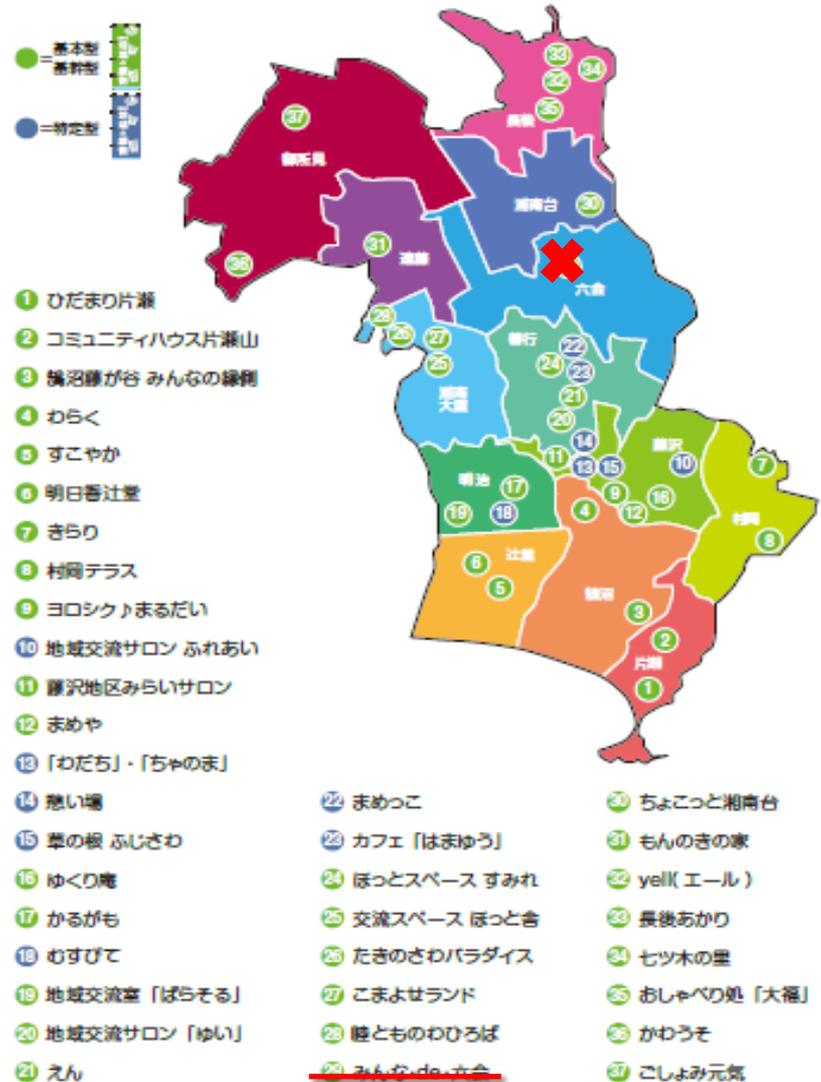


地域の縁側 分布状況

藤沢市内に36箇所ある地域の縁側だが、設置数については、地区ごとに差がある状況。特に六会地区は、現在実施中の縁側が一つもなく、数が少ない湘南台地区、遠藤地区とともに今年度も新規実施団体を募集。

今後も積極的に募集を行い、全体で40箇所以上の設置を目指す。

～藤沢市 地域の縁側 分布図～



地域の縁側 ～多世代交流、まちかど相談～

片瀬地区



(ひだまり片瀬)

善行地区



(ほっとスペース「すみれ」)

藤沢地区



(ヨロシク♪まるだい)

長後地区



(yell (I-ll))



地域の縁側 ～多世代交流、まちかど相談～

長後地区



(おしゃべり処「大福」＝自宅開放型)

御所見地区



(かわうそ＝法人事業拠点の活用)



村岡地区



(村岡テラス＝法人事業拠点の活用)



人間関係の希薄化が謳われるご時世ですが・・・

地域の縁側で醸成されるコミュニティが孤独・
孤立対策の一助になります！



ここまでは、ウォーミングアップ！

第1部研修会に続きます・・・

